

T S 使い平たん性確保

競走路整備で情報化施工

大成ロテック

大成ロテックは、オートレース場の競走路に、測量機器のトータルステーション(TS)などを

使用する山陽オートレース場(山口県山陽小野田市)の競走路改修工事。1周500^ミ(幅員30^ミ)の競走路は07年の改修から8年

とが求められ、15年9月から同社が施工した。同社では、平たん性を向上するため自動追尾式のTSを使用した3次元(3D)マシン制御によ

つて、アスファルトフィニッシュに搭載されたスクリードの位置や高さを自動調整しながら施工を行った。

施工完了後は、規格値

使用した情報化施工を行い、競走路の平たん性を確保した。

性が経過しており、平たん性と透水性に加え、十分な摩擦力が確保できるすべり抵抗性を回復するこ

同社では、平たん性を向上するため自動追尾式のTSを使用した3次元(3D)マシン制御によ

情報化施工を行ったのは、日本写真判定が運営

する山陽オートレース場(山口県山陽小野田市)の競走路改修工事。1周500^ミ(幅員30^ミ)の競走路は07年の改修から8年

とが求められ、15年9月から同社が施工した。同社では、平たん性を向上するため自動追尾式のTSを使用した3次元(3D)マシン制御によ



自動追尾式TSによる敷き均し制御状況

市)で製造した高安定度特殊開粒度アスファルト混合物を使用しており、施工完了後に試走した選手からも好評を得ているという。

1^ミ以下に対して平均0・5^ミ(施工レーン毎0・49^ミ~0・57^ミ)、選手が頻繁に走行する「黒潮ライン」は0・58^ミとなり、優れた平たん性を実現している。

平たん性の回復以外にも、路面の透水性とすべり抵抗性の回復に向け、防府アスコン(同県防府